8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
34	既に現時点で、既存校舎による校庭の縮小の影響で、児童は「休み時間」や「運動会の練習」を学年・クラスで交代して使用しています。また、運動会当日は芝川小まで保護者含め大人数が大移動を必要とされて対応しています。 今後の計画でも、結局のところ現在と同じような対応しか計画されていないように見受けられます。生徒が増加する見込みなのに、現時点で対応が不十分とされている同じ対応しか検討されていないことに不安を感じます。 大宮南小の周辺には、大宮南中学校や大宮高校があります。児童の安全や健全な育成のために、公立の中学や高校に校庭や教室の協力は要請できないのでしょうか。特に、運動会のためにわざわざ距離の離れた芝川小まで遠征させる現状が理解できません。なぜ距離の近い学校で協力をしてもらえないのでしょうか。特に大宮南中学は大宮南小学校の児童が進学する中学校です。授業面でも全面的に教室や校庭の支援を依頼してほしいです。	ご提案ありがとうございます。 大宮南小学校と大宮南中学校の2校については、小中一貫教育の観点から、2校間での連携を密にするとともに、相互授業参観や小中合同研修会など日常的な交流を図り、協力体制を整えております。 なお、運動会の実施に際しては、これまで、大宮南中学校の校庭を借りて実施することも含めて検討してまいりましたが、中学校の学校総合体育大会とスケジュールが重なることや、同じ校種である芝川小学校の方が、運動会で使用する用具が借りやすいなどの理由から、現時点では、芝川小学校の校庭を借りての実施という形をとっておるものです。 今後も引き続き、学校行事や体育授業等での施設利用を含め、より良い教育活動のために、2校間で連携を図ってまいります。 またご提案の大宮高校との連携につきましては、大宮南小学校の教育環境の確保のため、やはり有効であると考えておりますので、同校との協議を進めてまいります。
35	改修工事開始までの期間における校舎の安全性について 今回の工事は老朽化の解消を目的とした改修とのことですが、完了まで長期間を要します。その間も子どもたちは現在の校舎を使用しますが、老朽化した建物を今後数年間使用し続けることについて、安全上の問題はないのでしょうか。耐震性を含め、工事開始までの安全性が確保されているのか、具体的にご説明ください。	現在使用している校舎は、過去に耐震補強工事を実施しているため、地震時の安全については確保されております。老朽化についても、維持管理を行っておりますので、安全性は確保されております。
36	児童数増加の想定と改修の必要性について 児童数増加への対応とのことですが、具体的な人数が示されておらず、問題の程度がイメージできません。現在の児童数、今後想定される児童数、児童数増加によって何教室不足する見込みなのか、どの時期に不足が生じる想定なのか等、具体的な数字をご提示ください。今回の大規模な改修がどの程度必要なのか理解できるよう、説明をお願いいたします。	今回の工事は、北校舎の老朽化への対応を基本としつつ、改築後の校舎については、今後の児童数増加にも対応できる規模とするものです。 大宮南小学校は、令和8年度現在1,245人、41学級ですが、令和14年度には1,462人、49学級となる見込みです。現在の運動に利用できる校庭部分の面積は3,900㎡程度と既に人数に比して狭く、現在の給食室の提供能力もこれ以上の人数増には対応が難しくなります。また教室数も多目的室等の普通教室への転用が必要となってまいります。 こうした不足が生じることが見込まれるため、老朽化対応と合わせて必要な教育環境を確保する計画としています。改築後は、既存仮設校舎の設置前の校庭面積に回復させるとともに、給食提供能力を拡充、最大52学級に対応できる教室規模を想定しています。
37	大宮南中学校への影響と将来的な教育環境について 大宮南小で児童数が増加するのであれば、その児童の多くが進学する大宮南中でも、将来的に同様の問題が生じるのではないでしょうか。大宮南中について、今後の生徒数増加の見込み、校舎の老朽化状況や改修計画をどのように考えているのかご説明ください。小学校で工事の影響を受けた後、中学校でも再び改修等の制約を受けることがないのか、長期的な見通しを示していただきたいです。	大宮南中学校についても、御指摘のとおり、今後の生徒数の増加を見込んでおります。令和8年度現在399名、15学級のところ、令和14年度には561名、20学級になると見込んでおります。 大宮南中学校の既存校舎のみでは教室が不足することが見込まれるため、必要な学級数に応じた仮設校舎を建築する予定です。（R9年度設計、R10年度施工、R11年度供用開始予定） 大宮南中学校は建て替えが必要な建物はなく、改修を行うリフレッシュ工事についても、現時点で何年から行うといったことは決まっておりません。しかし、小学校で工事の影響を受けた児童が、中学校でも引き続き工事の影響を受けるというようなことは避けて、計画を立ててまいります。
38	工事期間中の校庭・運動スペースについて 説明会でも、児童一人あたりの校庭が狭くなることへの意見がありました。上木崎小と同じ水準を求めるものではありませんが、子どもたちができるだけのびのびと過ごせる環境の検討を引き続きお願いします。例えば昼休みの室内運動場の開放など、少しでも体を動かせる場所を確保できないでしょうか。また、空調設備の追加等、室内運動場の改修を優先し、縮小する校庭を補う場所として活用することもご検討ください。	休み時間の室内運動場（体育館）の利用についてですが、現在も、業間休み、昼休み共に子どもたちが利用できるように開放しております。また、今年度、体育館の空調設置工事が完了し、9月より空調の使用が始まっております。 今後、改築される北校舎に設置を検討している屋上運動スペースの利用も合わせて、子どもたちが体を動かすことのできる機会を最大限確保できるように取り組んでまいります。 なお、すでに空調整備を終えており、室内運動場（体育館）の改修で運動面積が増えるわけではないことから、今後、屋上運動スペースなどの確保も検討する北校舎の改築を優先しているものとなります。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
39	工事期間中の児童の安全確保について P7では工事用出入口や交通誘導員の配置が示されていますが、子どもたちの近くを工事車両が通行することには大きな不安があります。児童の登下校ルートと工事車両の動線を分離する、登下校時間帯には工事車両を出入りさせない、工事区域と児童の利用区域を確実に分ける等、「注意する」だけではなく、事故そのものが起こりにくい環境・動線をつくることを最優先にご検討ください。	ご指摘のとおり、児童の安全確保については、第一優先であるものと認識しております。ご提案いただいている工事動線の分離や時間帯での分離など必要な安全対策を今後の設計業務で検討してまいります。
40	給食時の箸の提供について 工事期間中は給食センターから給食が提供され、箸は各家庭から持参とのことですが、なぜ箸は提供されないのでしょうか。仮校舎や校庭縮小など、工事期間中は子どもや家庭にさまざまな制約・負担が生じます。小さなことかもしれませんが、各家庭の負担をできる限り増やさないという観点から、箸についても給食とあわせて提供することをご検討いただけないでしょうか。	給食センターから提供される給食については、給食センターにおいて大量の給食の調理並びに食器の洗浄及び保管を行う必要があり、そのための設備や運営体制が優先的に整備されていることから、箸の洗浄、消毒及び保管を行うための設備を現状備えておらず、箸の提供は行っておりません。ご不便をおかけし誠に申し訳ございませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。
41	工事期間中に在学する子どもたちへの「ソフト面」での配慮について 地域の長期的な将来を考えれば、より安全・安心で持続的な教育環境を整備することは大切だと理解しています。一方、工事期間中に在学する子どもたちにとっては、仮校舎、校庭縮小、給食、安全面など、正直デメリットが多いと感じました。また、今回の説明は施設改修等のハード面が中心で、工事期間中の学校生活をどう充実させるのかという説明が不足していると感じます。P14で上木崎小の取組を紹介されると、そちらを選択するよう誘導されているようにも受け取れました。別の学校を選びたいのではなく、生活圏に近い大宮南小で安心して過ごしてほしいと思っています。だからこそ、教育、行事、休み時間、放課後活動、校庭縮小への工夫など、制約を補う「ソフト面」の具体的な取組も示してください。「大宮南小で過ごしてよかった」と思える環境をつくっていただきたいです。工事期間中の子どもたちも、この計画の当事者です。	ご不安をおかけしていること、申し訳ございません。また、生活圏に近い学校に安心して通いたいというお声についても、しっかりと受け止めております。 説明会等でもご案内の通り、子どもたちの教育環境に配慮して、他の小学校に先駆けて、屋内運動場にエアコンを設置し、夏場の運動環境を充実させるなどの取組を図っております。 学区内から周辺校に通学する子どもの人数などにより工事期間中の大宮南小の児童数には変動が生じるため、具体的な対応を現時点で示すことは出来ませんが、周辺施設を活用した運動環境の確保や、設計を通じた工事エリアの縮小・工期の短縮など、教育委員会として、より良い教育環境を提供できるよう、引きつづき学校を支援してまいります。 なお、大宮南小学校においても、特色ある教育活動を行っております。 例えば、現在、さいたま市教育委員会の「教科横断的な学び」の研究委嘱及び文部科学省のサキドリ研究校の指定を受け、授業の質のより一層の向上を目指し、全教職員で学校課題研究に取り組んでいます。 また、児童会活動も盛んで、高学年を中心に、学校生活をよりよくより豊かにするために、図書委員会による本の読み聞かせ、運動委員会による中庭遊びの見守り、放送委員会による校内放送など、各委員会でアイディアを生かした取組を行っています。 今後、リフレッシュ工事に際しては、学校、地域、家庭だけでなく、校舎とのお別れ集会や校内ウォークラリーなど、子どもたちの発意発想を生かしながら、「大宮南小学校で過ごしてよかった」と思えるような取組を検討してまいります。
42	給食についてです。献立は自校給食分と統一します、との事ですが、汁物も提供されますか。自校給食分の献立が給食センターの献立に引っ張られて、現在提供できているものができなくなったりしませんか？	汁物についても、これまでと同様に提供する予定です。なお、献立は自校給食分と統一しますが、給食センターでの調理・配送に対応した内容とするための調整は必要となるものの、給食の提供内容が大きく制限されるものではありません。
43	説明会に参加しましたが、「よく検討した結果なので、大筋は変更するつもりはない」というスタンスに感じました。説明会やホームページで住民から寄せられた案や意見を邪魔なもの、潰すべきものと捉えず、アイデアとして一旦受け入れ再検討に役立てて欲しいです。	誤解を生じさせる説明となってしまった点について、お詫びいたします。 説明会やホームページで寄せられている意見については、すべて関係する所管・学校と共有しております。工事期間中の教育活動をより安心していただけるものとすることや、工事後の校舎をより良いものとすることなど、今後の設計段階や学校や教育委員会で検討すべき事項の貴重なご意見として受け止めております。 児童数の推移を踏まえ、運動環境や給食提供能力を早期に改善させる必要がある点、校舎自体の建替えの必要性なども考慮し、工事自体を見直すことは難しいと考えますが、引き続き、多くの皆様よりご助言を賜りながら、少しでも安心して大宮南小の工事を迎えられるよう努めてまいりますので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
44	それぞれの工事の予算について教えてください。工事終了後(10年後)にはシントシティの子どもも減少に転じていませんか。その時点での児童数と教室数の推定を教えてください。完成後の教室数は多すぎていませんか。予算の無駄遣いにはなりませんか。	工事費の予算については、設計業務の完了後、各工事を実施する年度に予算計上してまいります。そのため、現時点で決定したものはございません。 なお、推計が可能な令和14年度時点で、児童数1,462名、学級数49学級の見込となっております。御指摘のとおり、シントシティ在住の児童数については、マンションにおける人口増減の傾向を踏まえると減少に転じる時期に入っていくと考えられますが、大宮南小学区内の他の開発の見込も踏まえ、その後もしばらくは同規模の児童数、学級数で推移すると見込んでおります。
45	8/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答についてです。質問1の回答について「周辺校についても、決して施設の状況に余裕があるわけではなく」との記載がありますが、大宮北小、大宮小、芝川小、上落合小についての児童数とクラス数(現在と数年後)、空き教室数のデータを示してください。シントシティ以外の子どもにも、少しでも良い環境で学ぶ権利があると思います。	大宮北小学校については、令和８年度の児童数352名、学級数14学級、保有教室数22教室で、今後６年間の児童数・教室数は同程度で推移する見込です。 大宮小学校については、令和８年度の児童数669名、学級数24学級、保有教室数32教室が、令和13年度に児童数537名、学級数21学級まで減少しますが、令和14年度には再び増加に転じる見込みです。なお、大宮小学校も建て替えのため仮設校舎を設置予定であり、施設規模が未定となっております。 芝川小学校については、令和８年度の児童数747名、学級数27学級、保有教室数33教室が、令和14年度には児童数818名、学級数30学級となる見込みで、児童数・学級数ともに増加が見込まれております。 上落合小学校については、令和８年度の児童数681名、学級数25学級、保有教室数27教室が、令和14年度には児童数534名、学級数21学級となる見込みで、児童数・学級数ともに減少が見込まれております。 質問１に対する回答については、通学距離等を踏まえ、上木崎小学校、大宮小学校、芝川小学校を念頭にお答えしたものになります。 選択できる地域の範囲の拡大や上木崎小学校以外の学校の選択の可否については、いただいた御意見も参考にさせていただきながら、引き続き検討してまいります。 【11/4 回答内容更新】 シントシティ在住の方を対象に行っている、上木崎小学校への通学を可能とする「選択可能地域」について、令和９年度入学に向けて、対象地域を大宮南小学校の通学区域全域（上木崎小学校を選択できる特定地域を除く）に拡大し、追加募集を行っております。対象となる御家庭には、11月４日に教育委員会から直接御案内を送付いたしましたので、手続等については、通知及びＨＰをご覧ください。 「選択可能地域設定による上木崎小学校への定員制入学・転学制度について（大宮南小学校の通学区域にお住まいの方）」 https://www.city.saitama.lg.jp/003/002/012/p122758.html また、上木崎小学校以外の周辺校の選択については、皆様からいただいている御意見も参考にさせていただきながら、その可否も含め、引き続き検討してまいります。
46	校庭の桜の木や大きな木は切ってしまうのですか。理科の観察や図工の絵の題材など利用されていましたが、、、	具体的に決まっていませんが、工事の施工に支障となる樹木については伐採することがあります。その場合、必要に応じて工事完了後に植樹してまいります。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
47	既にご回答されている質問ですが、プールについてです。回答に対する質問になります。 大宮南中学校に兄弟が通っていますが今年は6月7月にプールの授業がありませんでした。すべて9月に授業をするようです。このようなことが現在行われているのですから、水深調整台は6月に一回入れ、1学期終了後に出すだけで、小学生も使えますし、そもそも1学期終了までは水深を浅くし、2学期開始前に水を足すことでも対応できると思います。 中学校まで通うのに時間がかかるといっても、もともと広いスペースを要する球技などは中学校の校庭を借りる予定との事なので、プールの授業で借りてもいいのではないでしょうか。 プールの場所に仮設を建てて、校庭を広くとるほうがあらゆる面で有益だと思います。プール以外の体育の授業や休憩時間のほうが、プールの時間よりも圧倒的に長いです。安全性については、通行止めにする、信号を設置するなどして対策できます。	大宮南中・大宮南小の児童生徒数は今後も上昇傾向にあり、水泳授業の回数も増加することが想定されております。中学校までの移動時間を加味した場合、活動時間の維持のために、小学校側の授業回数を増やす必要もございます。また水泳授業については、天候や暑さ等で計画的な実施が難しい面にも考慮が必要です。 これらのことから、小学校と中学校で学期を分けて授業をするとしても、十分な授業回数を確保することは困難となると考えております。 その他、水泳授業はその性質上、事前の研修や監視・指導・救護の分担など、子どもたちの安全を一層確保する体制が不可欠です。学校外のプールを利用する場合、そうした体制の確保も、学校側の負担も生じる側面もございます。 加えて、プールの用地を仮設校舎などに使用できた場合でも、日影規制などの点から、大規模な校舎は設置できず、校庭も新規の仮設校舎が必要となるなど、効果は限定的です。その他、道路を挟んで校舎を配置する場合の生活上の安全確保等の運用についても整理が必要となります。これらを踏まえ、今回の決定としている次第です。
48	工事期間中のそれぞれのフェーズの有効校庭面積、屋内運動場面積および予測児童数から、子ども一人当たりの面積を算出して示してください。仮設校舎が建つ前(4年ぐらい前、現時点、及び将来の工事中の各フェーズごとの推移) また、上木崎小や、その他の近隣小学校でも同様のデータを算出して比較したデータを公表してください。説明や回答が漠然としている事が多く、具体的なデータが示されていません。上木崎小を選択するか、もしくは引っ越しや私立小学校の受験などを検討するに当たって、具体的なデータがないと判断が難しいです。	大宮南小の工事で影響が生じる校庭部分の面積の推移は以下のとおりです。なお、面積は目安であり、今後の検討で変動する可能性があります。また＋αは現在北校舎屋上に運動スペースの設置を検討しており、面積等は未確定ですが、その分考慮いただくものです。 ①R4（仮設設置前）：約5,300㎡、②R8（現在）：約3,900㎡、 ③R11（新規仮設設置時）：約740㎡、④R12~R16（北校舎建替事）：約2,000㎡, ⑤R16（新規仮設解体時）：約300㎡、⑥R16~R17（南校舎等改修時）：約2,300㎡＋α、 ⑦R18（既存仮設校舎解体時）：約1,800㎡＋α また各時期の児童数は見込みを含めて以下のとおりです。児童数見込は、シントシテイから上木崎小通学を選択する児童数がR8年度利用者と同程度で継続する場合の推計となります。また、令和14年度以降は出生者数が確定していないため、現時点で詳細な数値はございませんが、R14年度と同程度の規模で推移するものと想定しております。 ①R4：973人、②R8；1,245人、③R11;1,374人、④R14:1,462人 次に、学区が隣接する周辺校について、運動に利用する校庭面積だけを測定したデータはございませんが、校地面積から校舎等面積（市所有分※仮設校舎を含まず）を差し引いた面積、および①R4、②R8、③R11、④R14の児童数の見込みは以下のとおりです。なお、大宮小については、大宮駅東口の駅前賑わい拠点整備の影響で、令和12年度以降に旧大宮区役所跡地に建てる暫定校舎への移動を予定している点に留意が必要です。また上木崎小の児童数見込は、シントシテイから上木崎小通学を選択する児童数がR8年度利用者と同程度で継続する場合の推計となります。 A上木崎小8,649㎡、①842人、②786人、③843人、④933人 B大宮小8,408㎡、①723人、②669人、③583人、④563人 C芝川小14,779㎡、①683人、②747人、③835人、④818人 D上落合小4,604㎡、①824人、②681人、③587人、④534人 E下落合小8,781㎡、①821人、②785人、③701人、④768人
49	工事後に良くなると言っても、あまりにも工事期間が長い。工事期間中ずっとこんなに狭い校庭で学校生活を送るのか。東京都では、工事期間中の学校用の学校を建設し、工事中の学校が順次そこを利用する(バス送迎)方法をとっている場合もあると聞きました。さいたま市でも検討してはいかがか。スクールバスの利用色々と可能性が広がるのではないか。	東京都において廃校となった学校や空き用地に仮校舎を設置し、そちらに児童を通学させながら、工事を行う事例があることは承知しており、児童の教育環境の維持や工事期間の縮小など多くのメリットがある点はご指摘の通りです。 一方、これらの取組を実施する場合、児童の登下校の所要時間、緊急時の保護者とのやり取り等を考慮して仮校舎を構える必要がありますが、大宮南小からの移動等を考慮した範囲には、仮校舎の設置に適した広さを持つ廃校となった学校や未利用の市有地はございません。 またバス移動の場合には、大宮南小の規模の児童が移動するための大量のバスの確保や、交通影響への対策、乗降り用地の確保といった運用面の課題も生じるところです。 これらを考慮し、ご提案の取組を大宮南小学校での工事に活かすことは困難と考えておりますが、大宮南小の工期縮小や工事エリアの縮減、周辺施設を活用した運動環境確保について、引き続き取り組んでまいりますので、ご理解を頂ければ幸いです。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
50	不動産屋さんに、南小学区の土地や建物の取得にあたり、この長期間の工事について説明を義務づける必要があるのではないでしょうか？南小学区内の土地・住宅の売買において、学校施設の大規模な整備や長期間の工事が予定されている場合には、不動産事業者が購入希望者に対して適切に情報提供できるよう、さいたま市から不動産関係団体・事業者への周知を行ってください。 単に市のホームページに情報を掲載するだけではなく、「不動産を購入する人に届く仕組み」を検討していただきたいです。何も知らず、子育てにいいと思って不動産を購入する人が出るのはあまりにも気の毒です。	学区内の不動産の購入等を検討するファミリー層の方に対し、学校等の情報がしっかりと届く仕組みとすることは、大変重要であると認識しております。 ご提案いただいた方法等を参考に、どのような手法が取りえるか、検討してまいります。
51	シントシティの子どもの人数が落ち着いて、更に上木崎小等の他校への通学が進むなどして、現在の仮校舎2棟と南校舎に全児童が入るようになってから、北校舎の建て替えをしてはどうか？人数が多い時期に無理矢理するのはなぜでしょう。	大宮南小学区は、今後も開発が見込まれる地域です。またシントシティも、ファミリー層に魅力的な物件であるため、児童数のピークが過ぎた後も、一定の規模の児童数が維持される可能性もあるところです。 一方、大宮南小の施設は、老朽化が生じており、建て替えを検討すべき時期にあります。また、現時点でも既存の仮設校舎により校庭面積が人数に対して狭い状態であり、給食提供能力も近い時期に不足が生じます。 これらを考慮し、工事を進めることを判断した次第です。
52	北校舎の耐震が本当に危ないのであれば、そもそも緊急で使用禁止にすべき。そうでないなら時期を再検討すべき。役所は自分の仕事の遂行のために、子ども達を長期間劣悪な環境に置くべきではない。	No35と同様
53	長期間、このような環境での学びを強いることは子ども達への虐待にあたるのではないか。	ご不安をおかけしていること、申し訳ございません 説明会等でもご案内の通り、子どもたちの教育環境に配慮して、他の小学校に先駆けて、屋内運動場にエアコンを設置し、夏場の運動環境を充実させるなどの取組を図っております。また周辺施設を活用した運動環境の確保や、設計を通じた工事エリアの縮小・工期の短縮など、教育委員会として、より良い教育環境を提供できるよう、引きつづき学校を支援してまいります。 また、多くの皆様よりご意見をいただいているように、周辺校への通学の拡大による小学校児童数の抑制についても、引き続き検討を行ってまいりながら、工事期間中の教育環境の確保にも取り組んでまいりますので、ご理解をいただけますと幸いです。 【11/4 回答内容更新】 周辺校への通学につきまして、No45の更新内容をご確認ください。
54	運動会はどうなるのでしょうか。今は学年ごとの練習などは校庭ででき、本番は芝川小学校を借りて行っていますが、今後の工事期間中は学年ごとの練習すら行う場所がないと思います。	運動会の練習につきましては、令和11年度までは、使用できる校庭部分で学年ごとの練習を行っていく予定です。令和12年度につきましては、近隣の学校との連携を図るとともに、状況に応じて、運動会の実施時期等についても検討していく予定です。
55	6年間ずっとそのような状況になるのに、他の小学校に行く権利は無いのでしょうか。	周辺校への通学の拡大につきましては、皆様からの御意見も参考にさせていただきながら、引き続き検討を行ってまいります。 【11/4 回答内容更新】 周辺校への通学につきまして、No45の更新内容をご確認ください。
56	いじめが認定された場合に、学区外の学校に通える制度があると思いますが、今回の工事が子どもの心身の健康に与える影響は、いじめに準じる事態だと思います。申請があれば、学区外通学を例外なく認めるべきだと考えます。	御指摘の就学指定校変更基準の教育的配慮の事由については、個別の状況に関し、就学校を変更することで課題解決が見込まれる場合に、指定校の変更を許可するものになります。工事の影響につきましては、皆様に同じように影響を及ぼすものであり、個別の事由によるものではないため、教育的配慮の事由には当てはまりません。 学区外への通学につきましては、いただいた御意見も参考にさせていただきながら、上木崎小学校を選択できる地域の範囲の拡大や上木崎小学校以外の学校の選択の可否も含め、引き続き検討してまいります。
57	上木崎小の説明会も開いてほしい。	上木崎小学校では、「学校選択に係る学校見学会」を実施しておりますので、そちらをご確認ください。また、その他の情報についても、ホームページをご確認ください。 〇上木崎小学校ホームページ https://kamikizaki-e.saitama-city.ed.jp/ 〇学校選択にかかる学校見学会のお知らせ https://kamikizaki-e.saitama-city.ed.jp/files/58122/1981992134.pdf

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
58	質疑表に小学校を新設する土地がないから改築にした、とあったが土地を準備できない理由が理解できなかった。手間とお金がかかるから一番楽で低コストの改築にしたとしか思えない。それ以外の理由で新設できない理由を教えて欲しい。	例えば大宮南小の校地面積は、15,000㎡程度であるとおり、小学校を新設するには、単に建物を建てるだけではなく、十分な広さの校地が必要となります。 教育委員会では、一定規模の土地の売買情報の収集に努めておりますが、学校用地として適した土地の売買情報を得ることはできておらず、近隣の一定の広さを持つ市有地も利用方針が決定済であることや立地上の条件から、利用が困難または利用に適さない状況です。 また、仮に土地の目途が立った場合でも、一般に学校建設には基本構想、基本計画、設計、工事などの工程を経るため、かなりの年数が必要となります。 一方、大宮南小は、老朽化が生じており、建て替えを検討すべき時期にあります。また、現時点でも既存の仮設校舎により校庭面積が人数に対して狭い状態であり、給食提供能力も近い時期に不足が生じるため、早期に教育環境を改善させる必要性もございます。これらを勘案し、今般の決定とした次第です。
59	上の子が在学中、下の子が就学予定だが、下の子の卒業までにも建て替えが完了せず、六年間ずっと狭い校庭で自由に体を動かすこともできず伸び伸びと過ごせないことに児童の健全な発育のためにも問題があるのではと感じる。 滝野川第三小では通常5年の工期を4年で完了させると出ているが大宮南小の建て替えは長すぎないか。工期短縮の再検討を望みます。	今回お示しした工期は、設計業務に着手する前の段階のため、他校での事例等を参考に作成したものです。今後、設計業務の中で工期の短縮に向けた検討を行ってまいります。
60	そもそも児童数の増加はかなり前から把握できたはずだが、なぜピークを迎える前に工事開始できなかったのか。	シントシティ建設当時は、過去の市内でのマンション開発の実績から、児童増への影響を見込んでおりましたが、実際には、これまでの実績を大きく上回ってファミリー層が入居しました。 当初の想定よりも多くの児童増が生じたことを受け、シントシティを対象とした上木崎小への通学を認める制度の導入など、児童数を緩和させる取組を進める必要が生じたこともあり、ご案内の時期からの工事着手となってしまいました。 ご不安をおかけし、申し訳ございませんが、ご理解をいただければ幸いです。
61	給食も配送となり衛生上も本当に自校給食と変わらないか不安。	センター給食では、調理から配送、配膳までの各段階において、国の定める「学校給食衛生管理基準」に基づき、衛生管理を徹底しております。 具体的には、調理後の食品は適切な温度管理のもとで保温食缶等に入れ、給食専用車で各学校へ配送しています。配送時間を適切に管理し、給食が安全な状態で提供できるよう努めております。
62	シントシティから現在上木崎小を選択する人はかなり限られているので児童の分散効果が出ていないと感じる。シントシティの街区によっては原則上木崎小に通学としたらどうか。もしくはそれ以外の地区でも大宮小など周辺の学校への通学を選択できるようにしたらどうか。	児童数の増加に対する対応策として、通学区域の変更や通常の特定地域（定員なし）の設定についても検討したところでございますが、上木崎小学校の施設規模や児童数の推計、開発の可能性等を踏まえると、上木崎小学校で受け止め切れない状況となる可能性があり、恒常的な制度として、通学区域の変更や特定地域を設定することは難しいと判断し、上木崎小学校に仮設校舎を設置した上で、既存の特定地域に隣接しているシントシティを対象に定員制による上木崎小学校への就学先の選択制度を行うことにしたものです。 事前のアンケート結果や従前より特定地域として上木崎小学校を選択できる周辺地域の選択率の状況等から、定員として設定した90人程度の方が選択することを想定していたところでしたが、少ない状況となっていることは御指摘のとおりです。 選択できる地域や対象校の拡大につきましては、皆様からいただきました御意見も参考に、引き続き検討してまいります。 【11/4 回答内容更新】 周辺校への通学につきまして、No45の更新内容をご確認ください。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
63	私の知っている限りでさいたま市立大宮南小の工事について関連する可能性があるものが2件ありますが、今回のご説明は以下のどちらに基づくものでしょうか。また、計画業務を委託するにあたり、前提条件として設計事務所等に提供した情報を公開してください。 ① 2021年の「改築・長寿命化修繕・大規模改修基本計画」2021年（令和3年）に、「さいたま市立大宮南小学校改築・長寿命化修繕・大規模改修基本計画策定業務」* 落札者：株式会社井上建築工学設計事務所* 落札金額：7，200，000円* 入札方式：指名競争入札 ② 2025年の現在の「リフレッシュ基本計画」「さいたま市立大宮南小学校リフレッシュ基本計画策定業務」* 入札公告：2025年4月16日* 入札日：2025年5月21日* 落札者：株式会社高岡建築設計事務所* 落札金額：11，800，000円* 入札方式：一般競争入札	②の令和７年度に実施しました「さいたま市立大宮南小学校リフレッシュ基本計画策定業務」に基づくものです。業務の実施にあたり、敷地測量図、教室配置図、学校施設台帳等を提供しています。
64	現在の計画について、「すでに決定していて変更できない部分」と、「今後の設計・予算・議会での手続き等によって変更が可能な部分」を、それぞれ具体的に教えてください。 現在、多くの保護者や地域の方から、工事期間や学校生活への影響についてさまざまな意見が出ている中で、「基本的な大枠はもう決まっているので変更は難しい」という前提で計画を進めるのではなく、子どもたちへの負担を少しでも減らすために、現時点で本当に変更できる余地がないのか、改めて検討していただきたいと考えています。 今後、大規模な工事費や予算が必要となり、数十億円規模の具体的な契約等が進めば、変更のハードルは高くなると思います。だからこそ、まだ最終的な契約や工事に至っていない現段階で、保護者や地域から出ている意見を踏まえて、改めて検討をお願いいたします。	現時点における市の事業方針として決定している事項といたしましては、工事着手の年度、改築・改修する校舎、工事完了時の教室等の諸室の数、仮設校舎の規模等です。これら以外の事項につきましては、今後実施する設計業務等において決定してまいります。
65	児童が授業中も工事は行われるのでしょうか。騒音により授業に集中できなくなることが心配です	工事による騒音や振動を全くなくすことはできませんが、極力騒音等が小さくなるよう配慮してまいります。工事の時間については、授業中も含めた日中の時間帯になります。しかし、例えば、音が出てる工程で、教育活動に影響が出る場合は、工程を調整するなど、学校の運営に最大限支障のない形で対応をしています。
66	リフレッシュ工事を行うこと自体に反対するものではありません。また、工事期間中に通う児童について、南小だけを特別扱いしてほしいという意見でもありません。 ただ、今回の工事は6年間という長期間にわたり、児童はその間、工事による制約や不便を受けながら学校生活を送ることになります。「南小だけ特別な対応はしない」という方針については理解していますが、これまで他校で工事を行った際にも、工事期間中の児童に対して十分な配慮や還元がなされてこなかったのではないでしょうか。 大人の都合による工事で子どもたちが長期間窮屈な思いをするのであれば、その負担を少しでも軽減し、「工事中の学校に通ってよかった」と思えるような具体的な取り組みを検討していただきたいです。工事期間中の児童にとってメリットとなる施策や配慮を、ぜひ実施していただくことを希望します。	ご不安をおかけしていること、申し訳ございません。 工事期間中は、他の学校同様に、学校生活においてさまざまな制約や不便さが生じることを避けることはできません。 しかしながら、大宮南小については、説明会等でもご案内の通り、子どもたちの教育環境に配慮して、他の小学校に先駆けて、屋内運動場にエアコンを設置し、夏場の運動環境を充実させるなどの取組を図っております。 今後も、周辺施設を活用した運動環境の確保や、設計を通じた工事エリアの縮小・工期の短縮など、教育委員会として、より良い教育環境を提供できるよう、引きつづき学校を支援してまいります。 また学校においても、そうした工事期間中においても、「南小学校に通ってよかった」と子どもたちが感じることのできるよう、与えられた環境の中でできることについて、知恵を絞っていきたいと考えています。 その際は、教職員だけではなく、学校運営協議会やPTA、児童会と連携を図りながら、学校運営の当事者として、家庭、地域、子どもたちと膝を突き合わせて、どのようなことができるのかを考えていきたいと思います。
67	「一定規模の校庭の確保」と言われていましたが、2000平米では狭すぎます。 これは、2つ目の仮設校舎建設中（令和5年）に遊ぶことができた校庭の広さとほぼ同じです。当時本当に狭く遊ぶことも体育の授業も制限され、大宮高校の敷地で体育を行っていました。この時は子ども達もさらに荒れていると感じていました。教室や校舎の中で過ごすことが多くなり、パソコンでタイピング練習が子ども達の遊びでした。（うちの子は1秒間に5文字ぐらい、早い子は14文字、子ども達はこれに熱狂していました。）そして、今回これまで以上に子ども達に過酷な工事計画が作られ、どうしてこうなるのかと怒りを通り越して悲しくなりました。 一定規模ではなく工事期間中も今のそのまま校庭を残す工事を検討して頂きたいです。	足場等の仮設や建設資材のストックヤード等、工事を行うためにはある程度のスペースは必要となります。一方で、体育の授業や休み時間の外遊び等、学校運営にも影響があることから、可能な限り校庭面積を確保できるよう設計業務の中で検討してまいります。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
68	直近で把握している実績について、大宮南小学区に居住し、特定地域等の制度により上木崎小など大宮南小以外への通学を選択した児童数と、大宮南小学区外に居住し、特定地域等の制度により大宮南小への通学を選択した児童数を教えてください。 地域別・学校別の回答が困難な場合は、少なくともそれぞれの総数を教えてください。	令和８年５月１日時点において、大宮南小学校区から特定地域及びシントシティの選択制度により大宮南小学校以外へ就学している児童は、238名です。 同じく特定地域により、大宮南小学校区外から大宮南小学校へ就学している児童は、42名です。
69	特定地域設定基準第8条では、自治会長からの申入れがなくても教育委員会自ら特定地域を設定できるとされています。 大宮南小学区の他地域について、この規定に基づく特定地域の設定や選択可能地域の拡大を、通学区域審議会への付議を含め具体的に検討してきましたか。してきた場合はその内容を、してこなかった場合は理由を教えてください。	大宮南小学校の児童数増加への対応としては、通学区域の変更や児童数平準化について検討してまいりました。 検討に当たっては、特定地域の設定も含め、周辺校の受入れ可能性や児童数分散の効果、地域への影響等を総合的に考慮しました。しかし、特定地域は希望者全員を受け入れることが前提となる一方、各周辺校には十分な受入れ余力がなく、恒常的な制度変更を行うことは困難と判断しました。 このため、既に上木崎小学校を選択できる特定地域に隣接し、児童数分散の効果が見込まれたシントシティを対象に、定員制の選択可能地域を設定しました。 このように、特定地域の設定を含めた検討は行いましたが、結果として通学区域審議会への付議を前提とする見直しには至りませんでした。
70	選択可能地域制度が児童数平準化を目的として開始された経緯は理解した。しかし、その後、大宮南小では長期間にわたり教育環境への影響を伴う大規模工事が予定された。令和9年度入学児童について、シントシティ以外の大宮南小学区の児童にも上木崎小等への選択を認めることを検討しないのか。 R9入学の子は、大規模校のうえ、工事・仮設校舎・校庭縮小・騒音振動などの影響を長期間受けるのに、同じ学校に入学する子の中で、住所がシントシティかどうかによって退避できるのは不公平ではないか。 シントシテイだけで上木崎小への編入希望が定員に達しなかったなら、なおさら他の地域からも認めてよいのでは。	シントシティ在住の児童を対象とした上木崎小学校への選択可能地域の設定については、御指摘のとおり、児童数の急増に対応するために始めた制度でございます。上木崎小学校を選択できる地域の拡大等については、皆様からいただいている御意見も参考にさせていただきながら、引き続き検討してまいります。 【11/4 回答内容更新】 周辺校への通学につきまして、No45の更新内容をご確認ください。
71	工事期間中、校庭面積が小学校設置基準第8条別表の7，200㎡を大幅に下回りますが、第8条ただし書の『教育上支障がない場合』に該当すると判断しているのでしょうか。その判断根拠を教えてください。	工事期間中は現状より校庭が狭くなりますが、工事を施工するうえで必要なスペースであり、やむを得ないものと考えております。工事期間中は現状より校庭が狭くなりますが、子どもたちの教育環境に配慮して、他の小学校に先駆けて、屋内運動場にエアコンを設置し、夏場の運動環境を充実させるなどの取組を図っているところです。 また今後も、周辺施設を活用した運動環境の確保や、設計を通じた工事エリアの縮小・工期の短縮など、工事期間中の教育活動への影響を最小限に抑え、より良い教育環境を提供できるよう、引き続き対応について学校と協議してまいります。
72	大原町や障害者交流センター周辺には、現在あまり利用されていない広場等も複数見受けられます。広場として整備されていていたら、利用者や利用頻度を問わず、未利用地はないと言うのか。 「見沼田圃の保全・活用・創造の基本方針」の対象区域で土地利用に制限があるとのことですが、学校用地として利用できない具体的な根拠・基準はどの規定でしょうか。 また、新設校そのものが困難である場合でも、既存の広場等を校庭・運動場として活用することや、運動会をすることなど、学校施設の一部を整備することについて、候補地ごとに検討したのでしょうか。 検討したのであれば、どの土地について、どのような理由で利用困難と判断したのか教えてください。	ご提案のとおり、利用頻度の低い広場等を、工事期間中に制約を受ける小学校の運動環境のために活用していくことについては、今後の参考とさせていただきます。 一方、「見沼田圃の保全・活用・創造の基本方針」では、治水機能を保持しつつ、農地、公園、緑地等として土地利用を図ることとされており、これらが原則的な土地利用となっています。また、土地利用の基準の取扱い要綱においては、建築物の面積、高さ、緑化等に関する基準も定められています。 そのため、広場等を学校用地へ転用することが明確に禁止されているわけではありませんが、原則的な土地利用とは異なるものとして個別の審査対象となり、当該地に整備する必要性や治水機能、景観、自然環境等との整合性について慎重な検討が必要となります。加えて、関係機関との協議や各種手続が必要となるほか、整備内容にも一定の制約が生じるものと考えています。 こうした状況や、大宮南小学校校舎の老朽化への対応や、校庭面積及び給食提供能力の早期回復が必要となる点も勘案し、新設校の整備ではなく、今回の改築工事及び学区内児童の周辺校への通学の取組を進めることとしたものです。ご理解くださいますようお願いいたします。
73	シントシティ以外の大宮南小学区の令和9年度新入学児童について、リフレッシュ工事による教育環境への長期的な影響を理由として、上木崎小への就学指定校変更を個別に申請することは可能ですか。可能でない場合、どの許可基準に基づき対象外となるのでしょうか。	就学指定校の変更については、就学指定校変更許可基準に基づき、事由に該当する場合には、許可しているものになります。 「リフレッシュ工事による教育環境への長期的な影響」については、個別の事情ではなく、皆様に該当するものであり、許可基準の事由のいずれにも該当いたしません。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
74	二重窓ではない標準的な窓で、授業中に静かに取り壊しできるほどの特別な技術を使うのか。実際に数値で計測できているのか。	工事による騒音や振動を全くなくすことはできませんが、極力騒音等が小さくなるよう配慮してまいります。工事の時間については、授業中も含めた日中の時間帯になります。しかし、例えば、音が出る工程で、教育活動に影響が出る場合は、工程を調整するなど、学校の運営に最大限支障のない形で対応をしています。
75	新設校も困難、既存校への分散もシントシティ以外不可なら、シントシティ以外の児童の教育環境をどう保障するのか。	児童の教育環境を保障していくことは、教育委員会の重要な責務であると認識しております。このため、学校施設の整備や教育環境の充実、適切な学校運営に取り組むとともに、児童数の推移や学校規模の状況を継続的に把握しながら、必要な対策を講じてまいります。 また、通学距離や受入れ可能人数、通学時の安全性などの条件を総合的に勘案する必要がありますが、シントシティ以外の地域におきましても、周辺校を選択できる方策について引き続き検討を進め、児童・保護者にとってより望ましい教育環境の確保に努めてまいります。 【11/4 回答内容更新】 周辺校への通学につきまして、No45の更新内容をご確認ください。
76	旧さいたま市民会館おおみやが長期間使用されていない状態になっています。いずれ解体するしかないと思いますので、そちらに仮設校舎を建築してはどうでしょうか？	ご提案の旧市民会館おおみやは、令和11年度より解体工事を行う予定であり、またその後については、「大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針」に基づき、速やかに新たな土地利用の実現に向けた取組に着手できるよう、暫定的な跡地活用も含めた具体的な計画の作成を進めていくと聞いております。 工期が長期に及ぶ点や解体時期が大宮南小の新規仮設校舎の設置時期と同時期になる点、面積として十分に広さがあるわけではないなどの点から、新規仮設校舎を同用地に配置することは、困難な面もございますが、学校から近距離にある一定規模の土地であるため、運動用地として一時的な利用が可能かなど、関係部局との検討を図ってまいります。
77	土曜日の午後の説明会に参加しました。指扇小学校の工事について、保護者等にアンケートを取ったかという質問があり、取ってませんと言う市のご回答でした。 現在、上の子が中学1年生ですが、現在立っている2棟の仮設校舎の工事中に大宮南小学校に在籍していました。工事期間中は、実際の建築面積以上に大きく場所が必要となり、その部分が柵で囲われて校庭が使える面積がとても狭く、また学びの場がとても殺伐とした雰囲気でした。 あのような状態を在学中ずっと強いられるお子さんがいると思うと、本当に気の毒でなりません。このような気持ちを今まで伝える場や機会がなかったので、市役所の方のお耳に届いていないだけだと思います。届いていないからといって、なかったことにして欲しくありません。ぜひ指扇小学校にもアンケートをお願いします。	ご不安をおかけしていること、申し訳ございません。 大宮南小については、説明会等でもご案内の通り、子どもたちの教育環境に配慮して、他の小学校に先駆けて、屋内運動場にエアコンを設置し、夏場の運動環境を充実させるなどの取組を図っております。また周辺施設を活用した運動環境の確保や、設計を通じた工事エリアの縮小・工期の短縮など、教育委員会として、より良い教育環境を提供できるよう、引きつづき学校を支援してまいります。 指扇小について、アンケートを実施する予定はございませんが、校長先生をはじめ、先生方と連携して、問題があればすぐに言っていただき、速やかに対応するといったことを行っています。連携を取りながら、子どもたちの教育環境に影響が出ないように努めてまいります。
78	工事に何十億円もかけるよりも、もう少し学区調整を進めるべきだと思います。大宮北小学校では1学年に1、2クラスだと聞いています。同じさいたま市内で、そう遠くない場所に空き教室が多くある施設があるわけです。 さいたま市では、現在「公共施設マネジメント」として、無駄な公共施設を減らし、支出を抑えようと言う動きがあると聞いています。公共施設マネージメントシステムの観点からも、同じさいたま市内で学区を調整し、空き教室の利用を進め、無駄な仮設校舎の建設を行わない事は非常に有効だと考えます。 学区調整には、様々な困難が伴うとは思いますが、例として以下のような対策を取ることも考えられます。 （学区調整に伴う弊害を解消する方法の例） ・期間を限定にする ・希望者のみとする ・保護者による徒歩での送迎を条件とする ・スクールバスを準備する 大宮南小学校学区に住んでいる子供たちだけに、長期間我慢を強いる現在の方法は、最も悪手だと思います。	御提案いただいた、希望者のみを対象とすることや期間を限定して実施することといった考え方につきましては、現在シントシティ地区を対象に実施している選択可能地域の趣旨とも共通するものであると認識しております。 教育委員会といたしましても、児童数の増加への対応として、これまでも周辺校への通学による児童の分散について検討してきたところであり、選択可能地域の範囲の拡大や対象校のあり方につきましては、いただいた御意見も参考にしながら、引き続き検討してまいります。 【11/4 回答内容更新】 周辺校への通学につきまして、No45の更新内容をご確認ください。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
79	一人ひとりの子供たちの顔を全く思い浮かべずに計画されていませんか。入学から卒業までずっと工事中の状態を強いられる子供たちや、保護者の方の気持ちを考えたことがありますか？行政なので、長期的な観点全体的な観点で物事を考える事が大切ですが、一人ひとりの子供たちのことを考える観点が大きく欠如しています。小学校の6年間は、その1人の子供にとってかけがえのない大切な6年間です。	ご不安をおかけしていること、申し訳ございません。 大宮南小については、現在生じている、学校施設の老朽化、校庭の狭小さの解消、給食提供能力の不足などの課題を解消することを目的に実施しているものです。 説明会等でもご案内の通り、子どもたちの教育環境に配慮して、他の小学校に先駆けて、屋内運動場にエアコンを設置し、夏場の運動環境を充実させるなどの取組を図っており、今後も周辺施設を活用した運動環境の確保や、設計を通じた工事エリアの縮小・工期の短縮など、教育委員会として、工事中もより良い教育環境を提供できるよう、学校と連携し努めてまいりますので、ご理解をいただければ幸いです。
80	中国の故事成語に一葉障目という言葉があります。(一枚の葉が目を覆って、目の前の大きなものが見えなくなる、という意味) 行政は「計画」という一枚の葉に目を覆われ、目の前にいる子どもたちの6年間を見失ってはいないでしょうか。行政に求められているのは、計画を守ることではなく、子ども達の健全な学び・成長を守ることではないでしょうか。	No79と同様
81	8/16までにHPに寄せられた意見への回答「No28」に対する回答についてですが、「アスベストに関する事前調査」は一部実施のみで、建物全体に関する調査は完了していないとあります。 調査結果が完了し、安全が確認されてから計画が出来るのではないでしょうか。ただでさえ、狭い環境で周囲を建物で覆われた状態の校庭で活動せざるおえなくなる子供達に、健康被害を出す可能性が少しでもある状態で実施しようとしているということでしょうか。 計画している方は、自分の子供が同じ環境でもこの計画を推進するのでしょうか。	アスベストに関する事前調査は実施設計段階までに行い、含有建材が確認された場合は設計に反映し適切に対応してまいります。工事の施工段階においては、各種法令等を順守し、アスベストが飛散しないように進めてまいります。
82	8/16までにHPに寄せられた意見に対する回答を拝見しました。大宮南中でも今後の児童数の増加にあわせてR11年度に仮設校舎を供用開始とあります。R9年に南中に入学予定の親としては、入学後2年間は狭い環境で恩恵は最後の1年のみです。もっと早く工事をすすめられないのでしょうか。 また、南小に来年入学する子の保護者でもあります。その子は6年間狭い敷地で、工事の不安を感じながら通学することになります。大宮南中はR9・10年はまだ教室に余裕があるという想定でいるのならば、6年生は南中に登校する等、小中一貫校のような対応はできないのでしょうか。 予想される課題に対しての対応が遅すぎて、結局子供達が損をするような計画しか今のところ行われていないように見受けられます。市役所の移転よりももっと重点をおいて、スピード重視ですすめてください。	大宮南中学校においては、周辺住宅の増加により、生徒数の推移も増加傾向にあります。令和８年４月時点で普通教室へ転用可能の部屋は３教室ありますが、令和９年度は２教室、令和１０年度は１教室、令和１１年度は０教室の見込みです。 つきましては、不足する教室を確保するため、令和９年度に仮設校舎を建設するための準備として基本計画を行い、令和１０年度に仮設校舎の設計及び工事を実施し、令和１１年４月から仮設校舎が使えるよう進めております。工事を早く進められないかとのお尋ねですが、スケジュールについては、過去の実績から法令等に適合した仮設校舎を建設するためには、工程上、最低２年間は必要となるため、現時点での最短のスケジュールとなっております。 また、大宮南小について、今回お示しした工期は、設計業務に着手する前の段階のため、他校での事例等を参考に作成したものです。今後、設計業務の中で工期の短縮に向けた検討を行ってまいります。 なお、一部学年を中学校側に登校させるというご提案の方法については、理論的には可能でございますが、2拠点での活動となる場合、登下校など小学校運営に大きな影響が生じます。また大宮南小で工事が始まるR11年度には、大宮南中の教室上の余裕はないことから、小学生分も想定して校舎を用意する必要があるため、大宮南中側の活動にも影響も生じます。これらの影響を小・中学校と協議した結果、工事期間中の影響緩和の目的で、そうした措置をとることは適当ではないものと判断しました。
83	大宮南小の運動会後、6月の校長から便りで「リフレッシュ工事期間中、今後も芝川小の校庭をかりて運動会を実施することになる」とされていました。なぜ一番近い大宮南中学の校庭ではなく、遠い芝川小なのでしょうか。 大宮南小の卒業生の大半は大宮南中学に進学します。地域では、南小と南中の仲が悪いと噂されていますが、そのような噂がたつほど協力関係が全く見受けられません。 運動会はもちろん、すべての行事で今後大宮南中の施設を最優先で大宮南小の生徒が使用できるように配慮をお願いいたします。	大宮南小学校と大宮南中学校の2校については、小中一貫教育の観点から、2校間での連携を密にするとともに、相互授業参観や小中合同研修会など日常的な交流を図り、協力体制を整えております。 運動会の実施に際しては、これまで、大宮南中学校の校庭を借りて実施することも含めて検討してまいりました。しかしながら、中学校の学校総合体育大会とスケジュールが重なることや、同じ校種である芝川小学校の方が、運動会で使用する用具が借りやすいなどの理由から、現時点では、芝川小学校の校庭を借りての実施という形をとっております。 今後も引き続き、学校行事や体育授業等での施設利用を含め、より良い教育活動のために、2校間で連携を図ってまいります。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
84	リフレッシュ工事をこの期間に強行するメリットはあるのでしょうか。 大宮南小を取り巻く現在の環境として、生徒数の急激な増加、仮設校舎の建設による校庭の縮小とそれに伴う授業や休み時間の外活動時間の縮小、運動会の遠い場所での開催といった悪条件ばかりです。 さらに、今後リフレッシュ工事をこのスケジュールで行うと、一番生徒の増加率が高いタイミングに窮屈で不安な学校生活を送ることになります。 今回の原因の大半はシントシティの住民増です。シントシティ住民の子供達が成長しきった頃に、新しく広い校舎が完成することになるのではないでしょうか。結局、登校する児童が減少傾向になるタイミングで巨大な施設が完成する、無駄な工事になるのではないかと想像しています。北校舎が古く建て替えが必要なことは理解していますが、5～10年建て替えを遅らせて、その間に生徒数が落ち着くことや、他の対応をすることは出来ない状況なのでしょうか。	大宮南小学区は、今後も開発が見込まれる地域です。またシントシティも、ファミリー層に魅力的な物件であるため、児童数のピークが過ぎた後も、一定の規模の児童数が維持される可能性もあるところです。 一方、大宮南小の施設は、老朽化が生じており、建て替えを検討すべき時期にあります。また、現時点でも既存の仮設校舎により校庭面積が人数に対して狭い状態であり、給食提供能力も近い時期に不足が生じます。 これらを考慮し、工事を進めることを判断した次第です。
85	大宮南中や大原中等の敷地利用を検討してください。大宮区全体で、大宮南地区の児童を助けてください。小学校だけの問題にしないでください。	周辺校の面積は、新設校を設置できるほど広い面積がある状態ではなく、特定の学年だけが通うような分校を設置する案も、登下校や学校運営上の課題も多く困難な面がございます。このため、ご提案の大宮南中などについては、小学校で制限が生じる運動環境を確保するため、敷地活用を継続して検討をしてまいります。
86	横浜で以前10年限定で開校した小学校のように、期間限定で今の生徒たちの学び環境を劣悪にしない方法を検討してください。リフレッシュ工事後の校舎に通えない生徒たちを犠牲にしないでください。	近隣に十分な広さを持つ未利用の市有地はなく、別の用途の市有地も、広さや立地などで課題があるため、新校の設置が難しい状況です。また新校設置には土地のめどが立った後も、完成までに一定の期間が生じます。大宮南小の校舎自体の老朽化の状況や早期に校庭面積や給食提供能力の回復を図る必要性があることも鑑み、今般の工事を決定した次第です。 大宮南小では、説明会等でもご案内の通り、他の小学校に先駆けて、屋内運動場にエアコンを設置し、夏場の運動環境を充実させるなどの取組を図っております。また周辺施設を活用した運動環境の確保や、設計を通じた工事エリアの縮小・工期の短縮など、教育委員会として、より良い教育環境を提供できるよう、引きつづき学校を支援してまいりますので、ご理解いただければ幸いです。
87	令和7年度教育行政方針等の説明では、大宮南小の教育環境改善と児童数の平準化のため、シントシティを選択可能地域に設定されたとの理解して参りました。本建替えの遅れ並びに長期間の教育環境上の制約が生じるにあたり、他の大宮南小学区も等しく扱い、大宮小・芝川小など周辺校への分散をはかるよう選択可能地域の制度拡大を具体的に検討してきたのか、検討頂いたてきた場合はその内容を、してこなかった場合は理由を教えてください。	大宮南小学校における児童数増加への対応については、これまでも児童数の平準化や教育環境の改善を図る観点から、周辺校への分散の可能性について検討してまいりました。 検討にあたっては、大宮小学校や芝川小学校を含む周辺校の受入れ可能人数、施設規模、将来の児童数推計、通学距離や通学時の安全性、地域コミュニティへの影響などを総合的に考慮してまいりました。 その結果、周辺校についても十分な施設的余裕がある状況ではなく、特に特定地域制度のように希望者全員を受け入れる恒常的な制度変更については困難であると判断したことから、まずは既に上木崎小学校を選択できる特定地域に隣接し、児童数分散の効果が見込まれたシントシティを対象として、定員制による選択可能地域を設定したものです。 一方で、ご指摘のとおり、今後はリフレッシュ工事により一定期間にわたり教育環境への影響が生じることから、児童数の抑制や教育環境の確保はより重要な課題であると認識しております。このため、シントシティ以外の地域も含めた選択可能地域の範囲の拡大や、上木崎小学校以外の周辺校を選択できる方策について、皆様からいただいたご意見も参考にしながら、引き続き検討を進めてまいります。 【11/4 回答内容更新】 周辺校への通学につきまして、No45の更新内容をご確認ください。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
88	まだ基本計画の段階の説明会でありながら、保護者からの質問や要望に対して「検討する」という返答がゼロでした。職員や校長先生の姿勢に非常に驚きました。さいたま市の慣例ではこのような工事の進め方になってしまうのでしょうか。 しかし、資料内容も職員や校長先生の話では決まってないことも多かった。校舎の解体や校舎建築工事の横で勉強し、休み時間はほとんどの児童が校舎の中だろう。また、どれだけの子どもが外遊びをすることができるのだろうと不安に感じるのは、説明会を聞いている保護者全員の共通認識だと思う。 一番安全な工事は、児童を他に移して工事をすることだと思う。工事期間中の児童のことをもっと配慮し、改めて計画を検討していただきたい。	No.49と同じ
89	大宮小も改築等を予定しているため、大宮小への学校変更(大宮小での児童受け入れ)は難しいとのことですが、大宮南小学校と大宮小の工事の時期をダブらせるのではなくて、ずらすのはどうでしょうか。 子供たちの負担が減るだけでなく、2つの小学校合わせてのトータルコストも減らせると思います。ぜひご検討のほどよろしくお願いいたします。	大宮小学校は、将来、大宮駅東口の駅前賑わい拠点整備に合せて建替えを予定しておりますが、すでに大宮小学校の校舎は大宮南小以上に築年数が経過していることから、まず隣接する旧大宮区役所跡地に暫定校舎を整備する計画としており、令和11年度中の完成を目指して事業を進めているものです。老朽化の状態などを加味して、計画を遅らせることは困難です。また大宮南小学校も、今後も児童数が増加する見込みであり、校庭面積の回復や及び給食提供能力の確保が必要となる点も考慮すると、工事着手時期を遅らせることは困難と考えております。 なお、大宮小での児童受け入れについては、旧大宮区役所跡地の面積の関係で、暫定校舎の規模にも一定の制限があることから、児童受け入れの規模にも制約が生じることとなりますが、皆様からいただいたご意見も参考にしながら、引き続き検討を進めてまいります。
90	上木崎小学校を選択した場合、中学校は大原中学校となるのか？大宮南中学校も選択できるのか？選択できる場合、中学校の人数配分調整で希望通りとならない可能性はあるか？	上木崎小学校を選択し、指定校変更をしたまま卒業した場合、中学校進学時に住所の指定校である大宮南中学校に加え、上木崎小学校の進学先である大原中学校も選択できます。その際、大原中学校を選択できる人数の制限を行う予定はございません。
91	さいたま新都心駅のバス乗り場から、他の小学校行きのバスを出してくれると、たいへん助かります。	ご提案ありがとうございます。工事期間中の大宮南小学校の児童数を抑制するため、大宮南小学区内から周辺校へ通学先を選択できる取組については、拡大も含め検討を行っているところです。 ご提案いただいたバスによる通学支援につきましては、登下校の所要時間や安全面、緊急時の保護者との連絡体制、受入れ先学校の施設状況等を踏まえて検討する必要があります。 また、一定規模の児童が移動するためのバスの確保や運行管理、交通への影響、乗降場所の確保など、運用面でも様々な課題があります。 いただいたご意見は、周辺校へ通学先を選択できる取組や通学環境について検討する上での参考とさせていただきます。
92	子どもの頃から住んでいて今は自分の子を南小に通わせている親です。環境が良くて、引っ越してきて家を買い、子を育ててきました。子が入学する頃シントシティが建ち、校庭は狭く、遊びたい時に好きに校庭で遊べなくなり、仮設校舎を建てていて工事中の期間も長く、クラスも増えてマンモス校になり児童の雰囲気も変わりました。運動会は自分の学校でできないので遠くの小学校を借りて行うことになるし、嫌なことばかりです。なぜ私たちばかりが我慢しなければいけないのか、こうなることを見越してマンション建設ができなかったのでしょうか？　どこに怒りをぶつければいいのかもわからず、非常に迷惑に思っています。また校庭が狭くなり、また工事、給食がお弁当になる学年もあるんですか。 シントシティは学区を選べるのではなく、強制にしてください。南小は朝登校班で連れて行ってくれるけど、上木崎は自分で連れて行かなきゃいけないから楽をしたくて南小を選ぶ家庭ばかりと聞いています。親の楽さから被害を被る南小の生徒。不公平です。	このたびは、南小学校の児童数増加及び学校施設リフレッシュ工事に伴い、校庭利用の制限や仮設校舎の設置、学校行事の運営変更などにより、ご不便やご心配をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。 大規模マンションの建設に伴う児童数増加については予測を行いながら対応してまいりましたが、結果として教育環境への影響が生じていることを重く受け止めております。現在、施設整備を進めることで教育環境の改善に取り組んでおります。 また、学区選択制度に関するご意見につきましても、学校規模や教育環境への影響という観点から、今後の検討にあたっての参考とさせていただきます。 いただいたご意見は真摯に受け止め、引き続き児童の教育環境の向上に努めてまいります。

8/17～9/16までにホームページにお寄せいただいた、ご意見・ご質問とその回答

No	質問内容	回答内容
93	特に令和11～12年度、あるいは、令和12～16年度および令和16～17の工事期間中の校庭のエリアが記載されてるが、小学校の人数規模に対して非常狭い。複数年に渡る工事期間において、資料上の校庭エリアの狭さは、文部科学省令の小学校設置基準等で法違反していないか？また、学校内での火災や地震災害時の避難場所が確保できず防災上著しい問題はないか？	ご不安をおかけしていること、申し訳ございません。 大宮南小については、工事期間中は現状より校庭が狭くなりますが、子どもたちの教育環境に配慮して、他の小学校に先駆けて、屋内運動場にエアコンを設置し、夏場の運動環境を充実させるなどの取組を図っているところです。 今後も、周辺施設を活用した運動環境の確保や、設計を通じた工事エリアの縮小・工期の短縮など、工事期間中の教育活動への影響を最小限に抑え、より良い教育環境を提供できるよう、引き続き対応について学校と協議してまいります。 また、火災や地震時等につきましても、児童の安全が確保できるよう避難方法などを学校と検討してまいります。
94	北校舎取り壊しの騒音について。通常の感覚でも騒音に感じるが、聴覚過敏の児童や先生に対してのフォロー体制はあるか。また途中で発症した場合にも、本人や保護者にも通院やフォローなどの負担がかかることとなるが、適切に治療や医療などに繋げる体制はできているか。	工事による騒音や振動を全くなくすことはできませんが、極力騒音等が小さくなるよう配慮してまいります。
95	北校舎取り壊しの期間中、南校舎は何年生が使う予定ですか。	校舎の学年配置は、学年のクラス数が毎年異なることから、翌年のクラス数を決める際に、あわせて決めていきます。このため、現時点ではどの学年が南校舎に入るかは決まっておりません。